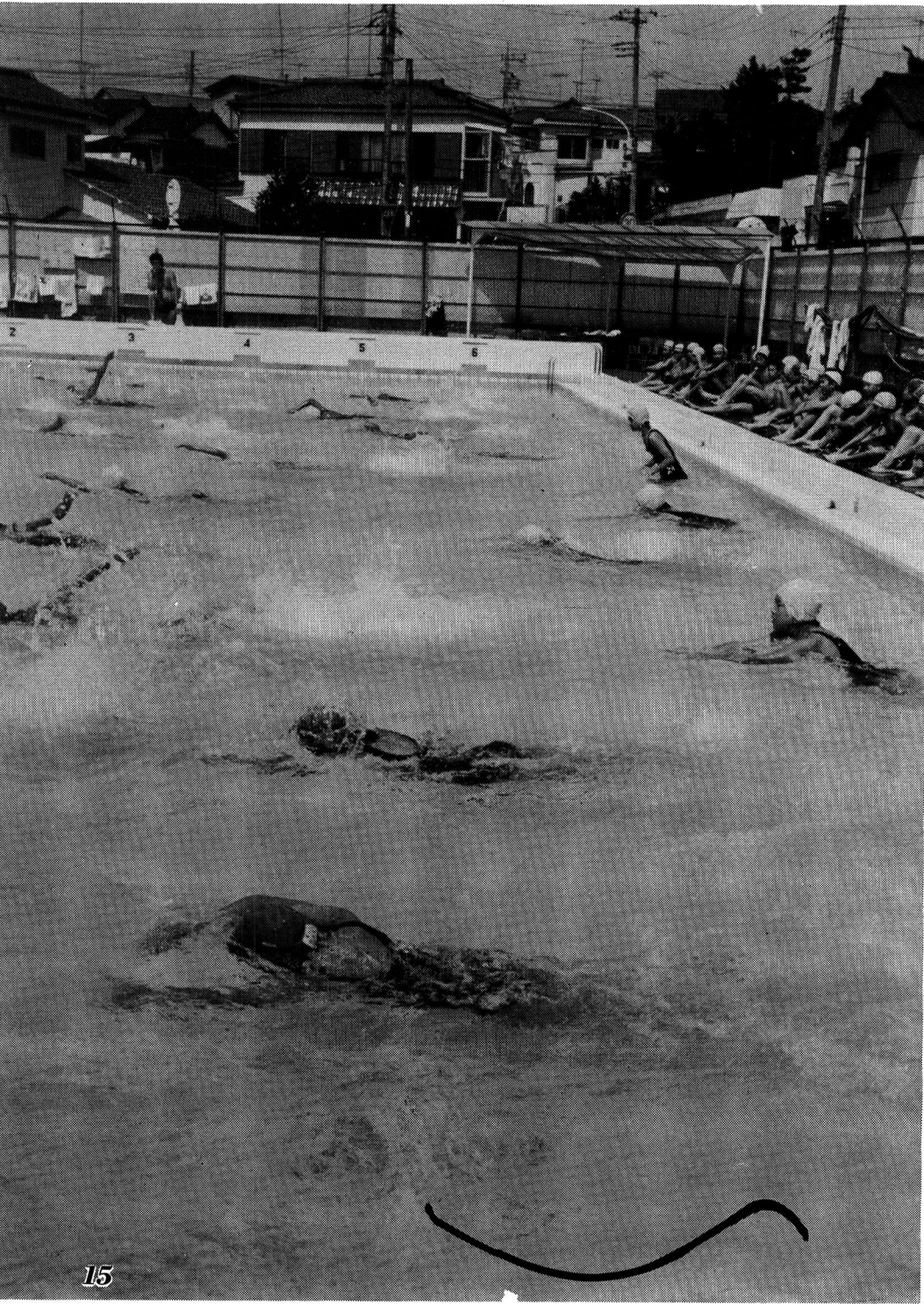


◇ 昭和58年7月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)



待ち遠しい盛夏の到来!!

梅雨の晴れ間をぬってのプール開き、  
可愛らしい河童たちの声が弾みます。

—七月十二日六小で—

新体制になって初めての定例会が、六月十日から開かれました。

西多摩地域広域行政圏協議会の設置についての議案や昭和五十八年度一般会計補正予算、福生中央排水区の工事請負契約などを始めとして、長年にわたり市に貢献された方々に対する自治功労表彰や一般表彰など三十六件が提案され、本会議や各担当委員会で審査されました。

# 西多摩地域が一体に 広域市町村圏へGO

第一日目 会期を十日から二十日までの十一日間とすることを決めた後、すでに申し出のあった七人の議員より基地問題や教育問題に関する一般質問がなされ、市長の考え方を聞きました。

また、この日追加議案が提出され議員及び職員の期末手当の支給割合を定める条例と教育委員会委員の任命、人権擁護委員の推せんも市長提案のとおりそれぞれ可決、同意されました。

第二日目 一日目に続き一般質問が行われた後、市長提案の議案審議に入り四議案をそれぞれ各委員会に付託しました。

また、市のために貢献された方々を表彰するための表彰案件二十六件が同意されました。

第三日目 各委員会に付託された西多摩地域広域行政圏協議会の設置や五十八年度一般会計補正予算、市道路線の認定、廃止各一件の審査報告が各委員長よりなされ、それぞれ可決されました。

また、屋外運動場を建設するための追加議案一件が提出され、全会一致で可決されました。

六月十三日に提案された西多摩地域広域行政圏協議会設置についての議案は、六月十五日の総務委員会で審査され、二十日の本会議で起立によって採決の結果、賛成多数により可決されました。

西多摩地域における広域行政圏協議会とは、青梅市、福生市、秋川市、羽村町、瑞穂町、日の出町、五日市町、桧原村、奥多摩町の三市五町一村が加盟し、有効的な土地利用を基礎に地域を生かした安定感のある総合的地域づくりのための計画を策定し、地域の振興整備を促進するものです。

西多摩地域を将来的に考えるとして、広域行政圏が必要とされ、昭和五十六年六月より助役、企画担当課長で組織されている西多摩行政事務研究協議会が一年

余にわたり調査、研究を行いました。

また、各関係市町村長による調査、研究も開始され、国や都の上級官庁等の説明を受けるとともに、実際に広域圏を設定し執行している愛知県知多地方広域行政圏の視察などを行い、その結果協議会の設置が必要であると各市町村長の合意がなされました。

秩父多摩国立公園の一部を含み約四分の三が山林におおわれている西多摩地域としては、豊かで貴重な自然を生かしたレク

## 第 2 回 定例会

6/10～6/20

### 審議日程

6月	
10日	本会議
13日	本会議
14日	建設委員会 厚生委員会
15日	総務委員会
17日	議会運営委員会
20日	本会議

は大きいものと思われま

今後、基本構想、基本計画、実施計画等地域総合計画の策定に向け、西多摩地域の九団体で検討が進められると思いが、大きな期待も寄せられています。





# 一般質問

第2回定例会では  
7人の議員が一般  
質問を行いました

## 基地の特殊性を訴え

### 残された事業にも努力

質問 米軍施設の横田基地統  
合に対し、当時当市がその代償  
として四百六十八億円にのぼる

諸施策を国の負担において実施  
すべきと要望している。  
現在、どの程度まで実現され  
ているのか。



スポーツ広場として着工が待たれるアサノポール跡地

また、国からくる  
調整交付金は、過去  
五年間でどのくらい  
の額になるのか。  
なお、法に基づく  
補助事業は建設面が  
主であり、管理、福  
祉面等いわゆるソフ  
トウェアの面も対象  
にすべきと考えるが  
どうか。  
個人住宅防音工事  
の実施状況及び環境  
基準の範囲拡大の点  
についても伺いた  
い。  
市長 米軍施設の

横田集約の受け入れ条件とし  
て、市の事業約四百六十八億円  
の事業費を関係省庁に要望し、  
市民会館、図書館等の建設に成  
果があったものと理解してい  
る。

しかしながら、臨調の答申に  
もあるように、国の防衛予算の  
うち周辺対策費にあっては、年  
々減額されている状況であるが  
今後米軍基地の特殊性を訴  
え、残された事業についても努  
力していきたいと思っている。

なお、ソフトウェア面の補助  
対象については、全国組織の基  
地協議会とも協力し、積極的に  
法改正等について取り組んでい  
きたい。

企画財政部長 四百六十八億  
のうち、東京都等が実施すべき  
ものも含まれており、それらを  
除いた金額は二百八十三億円余  
である。  
現在まで約百三十九億五千万  
円、その後追加したものも含  
めると百八十五億四千万円、約

六四・一%の進捗率となってい  
る。

また、残された事業は、市民  
山の家など七件あるが、対象と  
ならない一方的なものもあり、  
十分検討しながら要望してい  
たいと思っている。

それから、調整交付金につ  
いては、五十七年度まで十四億七  
千九百八十五万七千円となっ  
ている。

なお、住宅防音については、  
対象戸数七百四十戸のうち、三  
百四十戸が実施済みであり、対象  
区域の拡大についても年内告示  
されるものと思われる。

## 第二都市下水路の

### 事業化も検討中

質問 加美地区から多摩川に  
放流されている都市下水路の汚  
水は、汚濁にみち悪臭を放っ  
ている。  
この原因は何なのか。また、

過去の定例会でも取り上げられ、流域下水道の羽村幹線が完成すれば解消されるとの答弁がなされている。

切り替えはされているのか。

なお、この下水道の一時間当たりの降雨量は四十ミリメートルであり、現在、各市町村で計画されている数値と十ミリメートルの差があるが、改修されるかどうか聞きたい。

市長 汚濁は、一般家庭など、生活雑排水の中に基準を上回る悪い水質が認められており、これがその主因となっている。

水質改善の抜本的方策は、公共下水道の整備であり、二市一町で年次計画により目標に向かって努力している。

なお、改善計画については、御指摘のとおり降雨強度に無理があり、第二の都市下水道の事業化を進めており、すでに羽村町と東京都で協議に入っている。

建設部長 羽村幹線の切り替えについては、現在許可件数は三百六十三件あり、すでに接続しているものが九十五件となっている。

公共下水道の普及により件数も増加していくものと思われるが、できるだけ早く接続するよう話も進めたいと思っている。

### 全力を上げ

#### 生活指導を徹底

質問 青少年の非行は、質、量とも憂うべき大きな社会問題となっている。

文部省の五十七年度の調査結果によれば、全国の中学校七校に一所の割合で校内暴力が発生していると言われている。

当市でも事件が発生しており、その実態と対応についてお聞きしたい。

①、非行にはそれなりの兆候があるといわれており、その実態を把握していたのかどうか。また、日ごろの指導体制に問題はなかったのか。

②、全教職員の協力体制及び校長の適切なリーダーシップが必要と思われるがどうか。

③、事件を起こす中学生は、授業についていけず情緒不安定という報告があるが、小学校での生活指導はどうなのか。

また、これら一連の事件に対する具体的な対応はどのようにしているのかお聞きしたい。

#### 教育長

①、都市教育長会で実施した児童生徒の意識調査から問題行動の多発する恐れが予想され、学校関係会議等の機会を通じて十分注意するよう指導

していた。

事件発生後も多くの会議を持ち実情を報告し、教育委員会としても指示をしている。

特に非行の要因とされる万引きについては、小学校の校長に対策を指示し、また指導体制についても全教職員の理解の上で指導の見直し、改善をするよう指導してきた。

問題を起こしそうな生徒には、個別指導、家庭訪問等、積極的に実施してきたが、グループ形成を防げなかったことについては誠に遺憾であった。

②、都の教育委員会に異動方針があり、その中でもできるだけ校長、教頭については、一校に長く勤務させ、自分の能力を出させるようにしている。

また、一部指導力に欠ける教師もいるが、研修会を重ねながら、教育委員会でも指導していきたいと思っている。

③、具体的な対策については各学校の現状と問題点、学校などへの指導のほか、関係行政機関と十分連絡がとれるよう努力したいと思っている。

また、暴力の絶対否定、教師、生徒間の秩序の確立、学校、家庭内での子弟、親子間の信頼の確立、生活指導の徹底の四点を重視し、時間がかかっても学校、教育委員会とも全力を

挙げて取り組んでいきたい。

教育次長 五十七年度の問題行動の実態は、件数で十八件あり、家出、深夜徘徊、校内暴力等がその主なものである。

このうち、校内暴力の内容は、施設の損壊、カンパの強要、他校生との喧嘩など十件である。

なお、本年四月以降発生した事件については、一中関係で、三年生及び卒業生による女子生徒の集団リンチ、生徒の対教師暴力、窃盗、二中関係では、対教師暴力と羽村一中生徒との乱闘騒ぎなどである。

#### 中学生の非行問題

#### 要因により指導を実施

質問 中学生の非行問題は一部の生徒が悪いから、だけですまされる問題ではない。

友だちとの遊びや活動、親、兄弟との喧嘩や触れ合いに乏しく、受験地獄や能力主義教育、あるいは社会や未来への不安等、青春期の大きな困難にまつぎ、いら立ち、投げやりになる姿として非行、特に暴力事件として現われているのではないかと思っている。

私どもの身边でも五月に対教師暴力、女生徒による集団リンチ等心が痛む事件が発生してい

る。

教育委員会ではその原因をどのように考えているのか。

また、非行や暴力がどんなに恐ろしいものか、映画や演劇の観賞、悪の温床といわれるゲームセンターを地域の問題として、行政で制裁できないものかどうかお聞きしたい。

教育長 問題行動の要因は、児童生徒の生活に対する充足感の不足、あるいは協調性、連帯感、学習意欲への低下等があげられる。

また、学校関係で言えば、人間関係の希薄、指導体制に問題があるのではないかとも思っている。

なお、家庭における親子関係のゆがみ、過保護、放任主義等もあれば、テレビ、雑誌などの影響、社会全体のいわゆる享乐的風潮もその要因ではないかと思っている。

教育次長 御指摘の映画、演劇鑑賞については、教育課程の中で取り入れるものであり、すでに今年度の計画もできあがっており、行政側からあれこれ指示することは難しいと思う。

また、ゲームセンターの問題については、関係機関に取り締まり方をお願いしているわけだが風俗営業でないために取り締まりできないという現状である。

# 進路指導を徹底し

## 期待に沿うよう努力

質問 小・中学校の非行化問題はその要因も多く、解決したい現況である。

校内暴力の多発する府県は、例外なく日教組の組織率が高くしかも、組合活動に熱心なところばかりとも聞く。

教育者は、政治的イデオロギ―を排した中立的立場でなければならぬものと思っており、何点かについてお聞きしたい。

①、学校における教育の中立性の維持について教育長はどのように考えているか。

また、市内の小・中学校には、日教組に加盟している教師が何人くらいいるのか。

②、非行の大半が公立学校で発生する現状をどのようにとらえているのか。

また、愛国心、公德心については、どのような形で教育しているのかお聞きしたい。

なお、教育の根本は教師が手本であり、きちんとした服装で生徒に信頼感を与えるべきであると思うがどうか。

③、主任の任命権は学校長にあるが、日教組が選任した者を学校長が任命しているケースは

ないかどうか。

また、教育委員会及び学校長は、主任の性格をどのようにとらえているのか。

なお、日教組の下部組織である西教組では、主任手当拠出開争により、全員主任手当を拠出していると聞く。

拠出の事実があればそれが何に使われているのか。

西教組員で主任になっている者の人数、及び教師が主任制度をどの程度自覚しているかもお聞きしたい。

④、小・中学校は義務教育ゆえに学力の高い者も低い者も同じ教室で学び、無理が生じている。

思い切った改革をしなければ双方がだめになってしまう恐れもある。

市内小・中学校の上級進学率は、区内のレベルに比較しはるかに低いと聞くが、どのように認識し対処しているのか。

また、進学希望者といわゆる落ちこぼれ生徒に対する学業の進め方についても具体的にお聞きしたい。

教育長 ①、教育の中立性は

御指摘のとおりであり、各学校には強く指導している。

また、教職員の日教組への加盟状況については、全教職員数二百七十七名に対し百六十五名となっており、組織率は五九・六％である。

②、非行が公立学校で発生する原因の一つとして、多種多様な要素を持つ生徒、保護者がいることと、私立学校に比較し、指導の徹底がしにくい面があるのではないかと思っている。

また、公德心等については、教科領域の中で指導している。

なお、教師の服装については、基準を定めていないため、大変難しい面もあり、学校長に

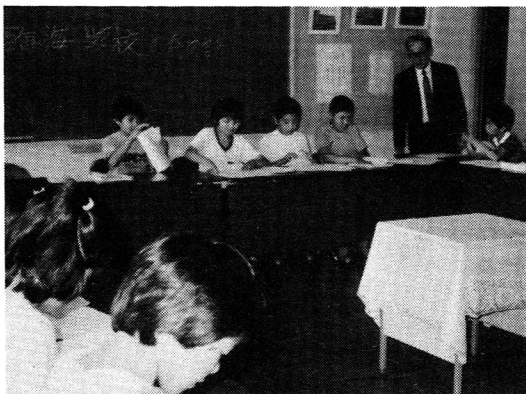
対して教師に注意を促しているのが現状である。

③、主任の任命については学校長が任命し、日教組の選任した者を任命した事実はない。

それから主任のとらえ方については、学校運営に重要な企画、立案、連絡調整、あるいは、指導、助言も行うという非常に重要な立場にあるものと解釈している。

また、拠出金の事実はあるが詳しく調査できなかった。使途については新聞報道されたとおり、児童、生徒、父兄を広島方面に連れて行ったようであるが、趣旨が違うということで教育長連名で西教組には申し入れをしている。

臨海学校のしおりづくりに笑顔がいっぱい



なお、主任のうち西教組に加盟している者は七十五名中四十三名であり、教師の主任制度に対する自覚については、任命された教師がそれぞれ職務を果たしていることから十分認識しているものと思われる。

④、学校教育の指導目標の一つとして、進路指導の徹底を取り上げ、生徒や保護者の期待に応え

### 市議会だよりの集録版ができました

議会事務局では、散逸防止のため「市議会だより」集録版を作成いたしました。

この集録版には、創刊号から五十五号までが収められています。

ご希望がありましたら有償(六千五百円)になりますが、お分けしたいと思いますので、議会事務局までご連絡ください。(☎五一一一五一一内線三九二)

るよう、学校長も教職員には指導している。

また、進学率については、五十七年度で中学校三校の卒業生七百三十三名のうち進学者は六百八十二名であり、九三％となっている。

なお、学級編成の中で進度の遅れている生徒には、補習授業や個別指導をしており、学校によっては、夏休み中特別指導をしている。

要は一人一人に応じた指導を徹底しなければならないのではないかと思っている。

### 実施までなお困難な

### 中学校の給食問題

**質問** 中学校の給食問題については、議会に請願書が提出され五十一年三月に採択されている。

これを受けた教育委員会では、慎重に検討する必要があるとして、中学校給食問題研究会を発足させ、教師、父兄、生徒に対する意識調査を実施し、あるいは近隣市への視察、多くの会合等も重ね、結果的には結論を教育委員会にゆだね解散している。

そして、その方向づけとして教育委員会では五十六年三月の全員協議会に、実施に向けて努力はするが当分の間見合わせる」と報告している。

聞くところによれば、市内中学校のクラスで一、二名、多いところで三、六名の生徒が弁当を持って来ないという。

それだけに学校給食への期待も大きいものと思っている。

なお、意識調査の中では、教師だけが反対という消極的な意見であったというが、その理由は何なのか。

また、三中だけが未実施であるミルク給食についてもお聞きしたい。

**教育次長** 教育委員会では、あらゆる角度からその必要性について検討を進め、社会情勢の変化、それに伴う学校給食の見直し、位置づけ等が問題となるところである。

二十六市の中でも百八十四校中実施校が七十九校という状況であるが、当分の間見合わせるという理由については、教育効果が得られるかどうか、現状では十分な期待ができないということでもある。

また、教職員の反対理由については、実施した場合、子ども

たちが十分な昼休みが取れず教育効果が得られないこと、食事は保護者が責任を持つべきであり、教師本来の業務に支障が生ずることなどである。

なお、三中のミルク給食についてはは学校側でも努力しているところであり、私も実施できるように今後指導していきたい。



### 退職手当問題

### 改善策を検討中

**質問** 地方公務員の高額な退職金を削減する機運が高まっている。

当市は、四十三の地方公共団



大きく報道された公務員の退職金問題

体が加盟する一部事務組合に加入しているが、その構成及び組合議会が最近開かれたのかどう

か。また、五十七年度の普通及び勸奨退職者は何人いて、そのうち

勸奨退職者の最高額はいくらか。なお、新聞報道によれば、係数に問題があると思われるが、同じ事務組合の市との差が出ていた。その要因についてもお聞きしたい。

**市長** 市町村職員退職手当組合の構成は、福生市のあとに市制を施行した市のほか、町村、一部事務組合など四十三団体であり、管理者には清瀬市長が、組合議員には稲城市長のほか七名がなっている。

私も組合議員の一人として退職手当の問題については、市民感情を考慮し、早期に改善しなければならぬと思っている。

また、組合とは別に、助役会の中でも小委員会が設けられ、近く結論が出されるものとも思われ、これらを参考に組合でも検討されるものと思っている。

**総務部長** 五十七年度の退職者は普通退職が六人、勸奨退職が五人の計十一人である。

勸奨退職者の最高額は一千九百五十二千円であり、退職年令が五十七歳、勤続年数二十三年であった。

また、新聞報道については、五十五歳から要綱に基づき申し出た者については、勸奨の待遇が受けられるようになっており、一つのモデルとして出したものであり、市によって年令差

### 議会日誌

日	内容
4月7日	東京都三多摩地区消防運営協議会
4月8日	東京都市議会議長会臨時総会
4月19日	市議会だより編集会議
5月6日	新人議員懇談会
5月10日	全議員懇談会
5月13日	第二回臨時会、全員協議会
5月18日	鹿児島県指宿市視察来市
5月20日	八高線電車化促進期成同盟会総会
5月24日	新人議員研修会
5月25日	横田基地対策特別委員会、西多摩地域広域行政圏説明会
5月30日	東京都市議会議長会定例総会
5月31日	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合臨時会、西多摩農業共済事務組合議会、三鷹・立川間立体化複々線促進協議

あるいは、普通退職扱いにならざるを得ない市等があり、特例を加味したものであると説明も

## 西口再開発事業

### 積極的な指導で促進

質問 西口再開発事業については、昨年九月に議会の全員協議会で、西口周辺地区再開発調査報告書の説明がなされてからすでに一年を経過しようとしている。

その後の進捗状況と報告書の中から何点かについてお尋ねしたい。

①、駅前広場は三千平方メートル、橋上駅も必要とされているが東京都あるいは国鉄とはどの程度話が進んでいるのか。

②、隣接する小学校の移転を促進し、跡地の有効利用を図る点と第三街区の中に駐車場の計画がある。駐車場については、各市で採算が成り立たないという話を聞くがどうなのか。

③、第三街区の中で新しくビルが建ち始めているが、その対応はどうされてきたのか。

また、固い建物は残して再開発するところがあるが、でき上がった時点でどう処置するのか。

④、西武線の福生駅乗り入れ

付記したものであるが、あのような形でランク付けされたものである。

⑤、組合施行については、準備組合が必要と思われるがどの程度進んでいるのか。

市長 福生駅前には八十年の歴史があり、再開発することにより、今までと違った住環境となり、いろいろ難しい要素が含まれている。

しかしながら、西口商業の地盤沈下をこのままにしておくことは、福生市全体の商業振興上からも問題があり、市では、五十六年度に基本計画及び事業化案を作成し、地元での説明会、あるいは土地所有者にも協力を呼びかけてきたところであるが、昨今の経済情勢から活発に進展していない状況である。

また、再開発事業については、早く行う必要がある一方、初動段階は行政主導でなく、民間主導の方が良いとされ、時期の熟するを待つのも肝要かと思っている。

今後の考え方としては、組織

化されているブロック会、あるいは再開発協議会、さらには土地所有者、借地人等のコンセンサスが必要であり、積極的な協議がなされるよう指導し、年度内に一つの街区の準備会が発足する運びとなれば、五十九年度に認可を得て一部事業に着手できるのではないかと思っております。私を含めて職員を叱咤し、指導に当たってまいります。

建設部長 ①、駅前広場は四千方メートルくらい必要と思われるが、西口の場合は問題も多く、平面的には二千五百平方メートル程度の広場を考慮し、ペDESTリアンデッキ(かさ上げ式歩行者専用道路)というの

を考えている。当然国鉄用地とも関連することであり協議を続けている。

また、橋上駅については、国鉄側の費用負担は困難であり、再開発の中で考えなければならぬと思っております。

なお、東京都の方でも一応承認はされており、話を進めていきたいと思っております。

②、一小の移転問題は将来の展望ということであり、非常に難しい問題も出てくるものと思われるので、それらも考慮し考えていきたい。

③、角地に建物ができているという御指摘については、建てる前に事業を施行する場合には壊して事業に加わるという考えを申ししており、その時点で検討したいと思っております。

また、固い建物については、原則的には残すという計画であるが、関係者とは話し合いをしていくつもりです。

④、西武線の福生駅乗り入れについては、経済的なものもあるが、西武鉄道とも話し合いをしている。

しかしながら、現実的には難しいという返



望まれる西口再開発事業

6月

会総会、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会

1日 福生伝染病院組合議会  
2日 全国基地協議会正・副会長、監事、相談役会議(3日まで)、東京都市収益事業組合議会

3日 議会運営委員会、三多摩上下水定期総会  
6日 横田基地対策特別委員会(防衛施設局陳情)

8日 第49回関東市議会議長会総会(9日まで)  
10日 第二回定例会(第一日目)、全員協議会、議会運営委員会

13日 第二回定例会(第二日目)  
14日 建設委員会、厚生委員会

15日 総務委員会  
17日 議会運営委員会  
20日 第二回定例会(第三日目)、全員協議会

21日 新人議員研修会  
22日 福生市都市計画審議会  
27日 西多摩衛生組合議会、狭山火葬場組合議会

29日 全国市議会議長会総会  
30日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会

事である。  
⑤、第三街区から進めるとい  
うことで話し合いをしている  
が、一部地主さん等の関係から  
進んでいない状況であり、第一  
街区の方からこちらを先にと  
う声もあり、それらを踏まえ、

## 布団乾燥

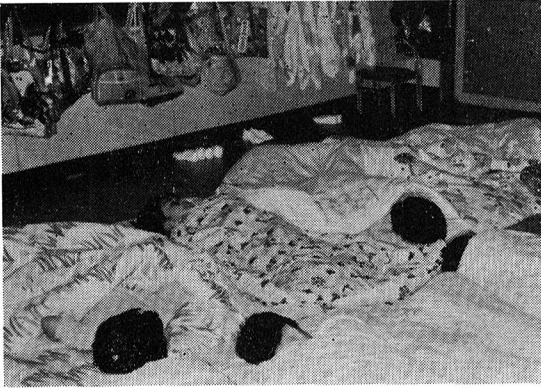
### 考えていない公費負担

**質問** 保育園で園児が昼寝の  
時間使用する布団は、都立の  
場合は貸出しをし、乾燥も実施  
しているが、市立、私立の場合  
は持ち込みをし、乾燥代を父母  
負担しているところがある。

また、これとは別に保護者会  
という名目で金銭的な負担をす  
る保育園もある。

私立の場合やむを得ぬものと  
思うが措置費以外の父母負担は  
月々どのくらいになるのか。

市長が申したように指導には当  
たっていきたいと  
思っている。



「スヤスヤ」とみんなで仲よく昼寝の時間

なお、移管問題につ  
いてその後対応の変化  
があったのかどうかお  
聞きしたい。

**市長** 布団の乾燥に  
ついては私物のため月  
一回程度家に持ち帰  
り、保護者の責任にお  
いてお願いをしている  
が、勤務の関係から持  
ち帰りができない方には  
希望者のみ業者にお願  
いし、実施している。  
原則として保護者に協  
力願うということで公  
費の負担は考えていな  
い。

なお移管については従来ど  
りである。

**福祉部長** 保育に要する費用  
については、措置費の範囲内  
でよう指導している。

なお、父母負担の格差及び保  
護者会の会費については、保育  
園により百五十円～三百五十円  
程度徴収し、自主的な活動に充  
てているというのを聞いてい  
るが、市内十二園の中で保育協  
議会を作り、研修会あるいは講  
演会を開催しているほか、公開  
保育という形で各園を研究の場  
とし格差のないよう努力はして  
いる。

### グラウンドの整備等

#### 担当課を調整し対応

**質問** 近年ゲートボールが盛  
んになり、当市でも楽しみなが  
らゲームをする人たちが増えて  
いる。

このような状況の中でゲート  
ボール福生支部が結成されよう  
としており、この取り扱いにつ  
いて、社会体育の一環として、  
あるいは老人福祉として対応す  
るのかお尋ねしたい。

また、グラウンド整備、新設等  
の要望があった場合どのように  
対処するのか。

**市長** ゲートボール人口は全

## 人事

### 教育委員会委員に

#### 木村氏を三選

六月十五日に任期満了とな  
る委員一名の任命について市  
長から昭和五十年六月より、  
教育委員として熱心に教育行  
政に取り組まれております木  
村氏を再度委員として任命し  
たいとの申し出があり、議会  
もこれに同意しました。

木村和男氏（福生二一三）

### 人権擁護委員に

#### 並木氏を推せん

人権擁護委員を勧められて  
おりました田村良夫氏が昨年  
亡くなられ、その後任として  
今回の議会に市長より推せん  
されました並木一男氏が諮問  
どおり全員一致で同意されま  
した。

並木氏は現在、東京地方裁  
判所の司法委員など広範にお  
たって活躍しております。  
並木一男氏（福生一、〇三八）

国で三百万人ともいわれ、当市  
でも百八十人前後の愛好者がい  
ると聞いている。

現在、グラウンド十一カ所十三  
面ほどあるが、組織化されてい  
ないことから担当課が決まっ  
ていない状況である。

早急に調整をし、グラウンド整  
備等についてもその中で検討い  
たい。

### 市民の保養施設

#### 広域行政圏の中で検討

**質問** 市民の誰もが気軽に少  
ない費用で利用できる保養施設  
の設置が望まれている。

三質問し、五十五年九月の議会

では、市長も「市民が楽しくし  
かも割安で過ごせるような施設  
を造る必要がある。実施の時  
期、場所及び施設の所有方式、  
借用方式等を検討したい」と述  
べている。

その後の経過はどうなのか。  
所有方式が無理ならば民宿を  
借用するなどの方法もある。

市長の考え方を聞きたい。

**市長** 市の基本構想にもあ  
り、様々な角度から検討を進め  
てきたが、保養施設を持った他  
市を調査した状況では、多額の  
資金を投入し、せっかく設置し  
た施設も、市民は一度利用する  
と二度目から減少するという傾  
向にある。

広範な住民が効率的に利用で  
きるよう今後は、現在設置準備





公園で元気に遊ぶ子どもたち

また、児童遊園にあっては民地を借用し、拡充を図っていくと聞くが、地域によっては広い道路を横断しなければ行けないというお年寄りや児童に不便なところも多い。適正な配置による増設計画もお聞きしたい。

市長 ご指適のとおりに、市内の公園は適正な配置とはいえない状態であるが、五十五年

①、今年には自衛隊機の離着陸が昨年と比較し四倍にも増えた。また、車輪がはずれるというような事故も起きていたが基地から何らかの連絡があったのか。

②、横田を通過しているのではないかとわれている核魚雷アスロックが新聞報道されてい

中の西多摩地域広域行政圏の中でも検討していきたい。  
なお、民宿を借用するという方法は今のところ考えていない。

## 公園の適正配置

### マスタープランにそって実施

質問 市内の公園、緑地の人口一人当たりの面積は四・二平方メートル、市街地においては三平方メートルを確保しているが、国の公園基準面積には及ばない現状でもある。

しかも、これらは区画整理事業によるものが多く、地域的な適正配置がなされていない。公園は単なる憩いの場だけでなく、災害時の避難場所としても重要である。

公園の適正配置については、どのように考えているのか。

また、児童遊園にあっては民地を借用し、拡充を図っていくと聞くが、地域によっては広い道路を横断しなければ行けないというお年寄りや児童に不便なところも多い。



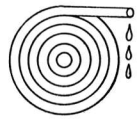
### 艦載機の飛行訓練

#### 隣接市町で抗議

質問 横田基地の一月から四月にかけての離着陸数は五月、六月に比較しはるかに多く、しかもその特徴としてC130というプロペラ機にかわり、KC135、あるいはE3Aという頭の上にお皿を乗せたような飛行機の離着陸が増えている。

①、今年には自衛隊機の離着陸が昨年と比較し四倍にも増えた。また、車輪がはずれるというような事故も起きていたが基地から何らかの連絡があったのか。

②、横田を通過しているのではないかとわれている核魚雷アスロックが新聞報道されてい



パイプ

## 議員の研修会

議員も今年には四年に一度の改選期。四月の選挙で十一名の新しい議員さんが、再選された十三名の議員さんと一緒に議会活動をする事になりました。

その組織、予算などのほか、市内の施設や一部事務組合の施設などの視察もいたしました。

そしてこの時期は、どこの市議会でも新しい議員さんの研修会や勉強会が行われる時期でもあります。

福生市でも新しい議員さんの研修会が五月に二回、六月に一回開催され、これからも必要に応じて開催されることになっていきます。

五月の研修会では、地方自治法や議会運営のあり方などの講義を受け、六月には、市

から出撃基地に横田は態様の変化があったわけである。

③、フリーテックス83についても嘉手納基地にいるはずのKC135とE3Aが全機横田に集結した時期がある。

また、その間にも艦載機のE2Bが市内上空を旋回し、騒音をまき散らしていた。

少なくとも一カ月間は輸送基地

他市の市長と防衛庁に抗議しているとお聞きしたい。

また、その間にも艦載機のE2Bが市内上空を旋回し、騒音をまき散らしていた。

なお、飛行機の離着陸数についてもお尋ねしたい。

市長 ①、チームスピリット

83の演習及び自衛隊機の飛来訓練については、何の連絡も受け

ていないが司令官からは、軍隊だから通常の訓練はしているとの話を聞いています。

また、事故の発生については、私どもが考える事故との差があるのか、防衛施設庁を通じて一度事故があったようだと報告は受けているが、基地からの連絡はない

②、新聞報道され、直ちに防衛庁及び基地には問い合わせたが、ミサイルを含む危険な貨物等は横田には入っていないとのことであった。

なお、核については日米安保条約を守っていくとの連絡は受けている。

③、フリーテックス'83についての正式な通知は受けていないが、四月一日司令官から訓練のためにC135及びE3Aが近日中に飛来してくるとの連絡は受けている。

また、艦載機の飛行訓練についての連絡はあるが、その都度隣接する市町で訓練の中止を申し入れている。

企画部長 抗議の内容については、『昼夜を分かたぬ艦載機の飛行訓練は、市民生活を脅かすきわめて遺憾なことである』として、関係市町、首長の連名で防衛施設庁及び米軍には要請している。

今後も問題が発生した場合に

は、隣接市町と速やかに抗議することになっている。

なお、要請に対する回答は、口頭ではあるが、日米合同委員会に諮り解決するよう努力したいと防衛施設庁の担当調整官から受けている。

市民部長 チームスピリット'83における飛行機の離着陸数は二月一日から四月十六日までの間四千六百四十回であり、対前

### 市内上空の飛行訓練

#### 中止を強く要請

質問 チームスピリット'83を皮切りに、例年になく横田基地での騒音が激しさを増している。五月十七日から始まったミッドウェー艦載機の訓練は夜間にも及び、低空飛行訓練であ

質問 ために騒音もひどく事故の起こりやすい状況でもあった。横浜市での米軍機事故、また飯能市への大型ヘリコプター不時着事故など、市民に不安を与える米軍の演習に対して、市民

年度比では百七回減少している。また、上半期については、三月が千七百七十六回、四月が千七百二十五回、五月に至っては、千四百八十一回となっている。

なお、この間一日最高に飛んだ日は、四月五日の百六十七回である。



基地に着陸する米軍機

の命と財産を守る立場から市長は強く抗議すべきと思うが、どのように考え対処してきたか。

市長 基地での訓練騒音については、市民に迷惑をかけていると



特に艦載機の訓練については、通告を受けた段階で、防衛施設庁には訓練の中止を強く申し入れている。

なお、福生市上空は市街地でもあり、基地での訓練は中止、または最少限にとどめるよう、今後も防衛施設庁等関係機関を通じて米軍に申し入れしていくつもりである。

#### Yナンバーの違法駐車

#### 基地へも対策を要請

質問 東口駅前広場には自家用車が駐車時にはバスの通過ができないような状態である。そのほとんどがYナンバーであり、長時間のときもある。市では基地に対してどのような対応をしているのか。

また、未整備のところ巨大な自転車駐輪場ができてしまっている。

自家用車同様どのような処理をするのかお聞きしたい。

市長 東口駅前広場については残る千三百五十平方メートル

を今年の八月から工事に着手する予定である。

ご指通のとおり中途半端な使用状況から違法駐車の原因となっているが、基地に対しては対策方を申し出ている。

また、ビル所有者にも文書で通告し、積極的に対処する旨の回答を得ている。

なお、自転車駐輪場については、八月に向けて場所の確保等各方面に交渉しているところである。

#### あとがき

市議会だよりの編集委員に選ばれました。

読みやすく、親しみやすい議会だよりを目指し、皆さんと一緒に考え、より良いものをお届けできるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。

#### 新編集委員

- 委員長 宮沢 良一
- 副委員長 村尾 栄次
- 木村 徳藏
- 仲村 清信
- 加藤謹之助
- 東田 正治
- 森田 治男
- 関 米吉